



朝日相扶 絆の森白鷹 2024年度

【協定締結者】

山形県、白鷹町、株式会社朝日相扶製作所

【協定期間】

第1期：平成25年2月14日～平成28年3月31日

第2期：平成28年4月1日～令和3年3月31日

第3期：令和3年4月1日～令和8年3月31日

【活動地】

白鷹町ふるさと森林公園 4.1ha

【団体紹介】

私たち株式会社朝日相扶製作所は木製家具製造のOEMメーカーです。

天然資源の木材に直接触れる機会が多く、その素材がなければ企業活動のできない会社です。使用している木材は植林、伐採、利用といった循環型管理が行われている森林からのもののみを「合法木材」として使用しています。

「100年育てた木を利用した家具なのだから100年もたせよう」というポリシーを持って家具作りをしています。

【活動内容】

木製家具製造に携わる社員の、森の成り立ち、森や木に対する慈しみを育てることを目的として、当社ではこのプロジェクトを「朝日相扶 絆の森白鷹」と名付け、白鷹町ふるさと森林公園内のブナ林4.1haの間伐や下刈り等の森づくり活動をしなごらまた、子どもたちが森、自然に親しむことのできるようレクリエーションも併せて行っています。



森林保護活動

今年度は令和6年5月25日と11月3日の2回の活動を実施しました。



全社員130名を対象に毎回20名程度ずつ参加してもらっており、全社員が保護活動に関わるようにしています。

下刈りや植樹の他、自然の中でのレクリエーションを通して木々に親しんでもらうよう考えています。

その他の活動

【CO2吸収量認証企業】

6月1日 やまがた森の感謝祭2024にCO2吸収量認証企業として参加しました。

森林保護活動によるCO2削減効果がすぐに目に見えなくとも、地球温暖化や気候変動といった地球規模に影響のあることであり、そしてこども達の未来のためにも必要なことと再認識しました。



活動を通しての感想

私たちの森林保護活動は毎回同じような内容でマンネリ化していますが木々の成長は数十年に渡って見届ける必要があります。

国の施策だからというだけでなく、CO2吸収のためにも森林保護は長期間継続し、いち企業のイベントとしての活動で終わらせるわけにはいかない重要な活動と捉えています。